

# 第1回 国有林モニターアンケート

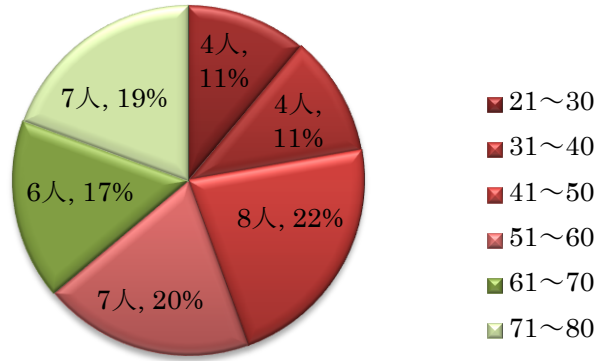
## 結果概要

国有林モニター制度は、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、広く一般から国有林モニターを募り、国有林野事業についての理解を深めていただくと同時に、国有林野事業についての幅広いご意見等をいただき、これらのご意見を管理経営に役立てることで、「開かれた国有林」にふさわしい管理経営を行うことを目的としています。

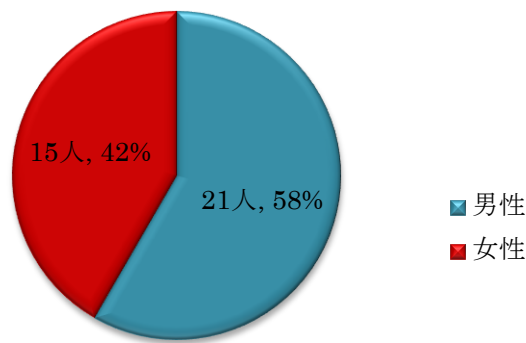
今回、第1回国有林モニターアンケートを実施し、国有林モニター36名中33名の方からご回答をいただきましたので、その結果について報告します。

平成24年7月

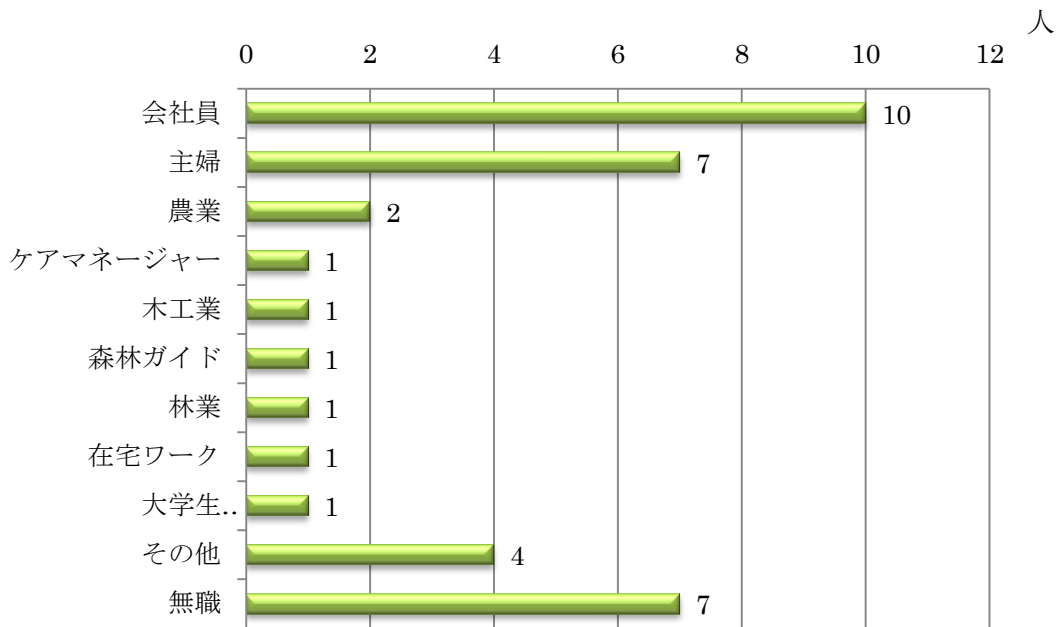
国有林モニター基本情報



年齢割合



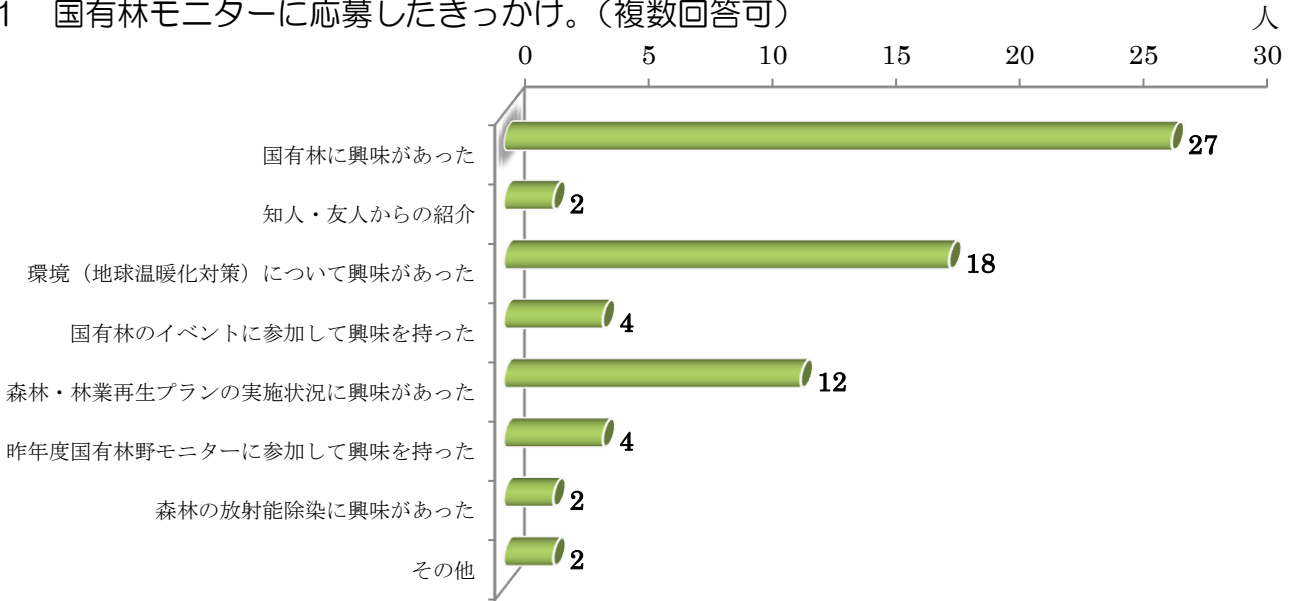
男女割合



職業

## 国有林モニター応募のきっかけについて

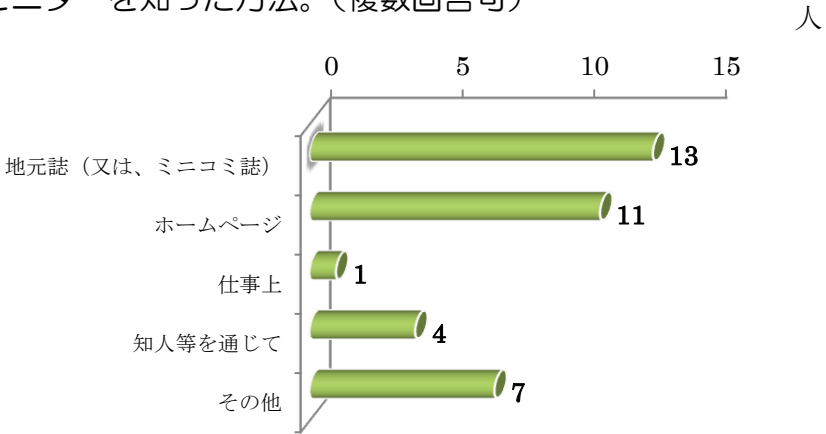
問1 国有林モニターに応募したきっかけ。(複数回答可)



その他(一部抜粋)

- ・県のイベントに参加して興味を持った。 等

問2 国有林モニターを知った方法。(複数回答可)

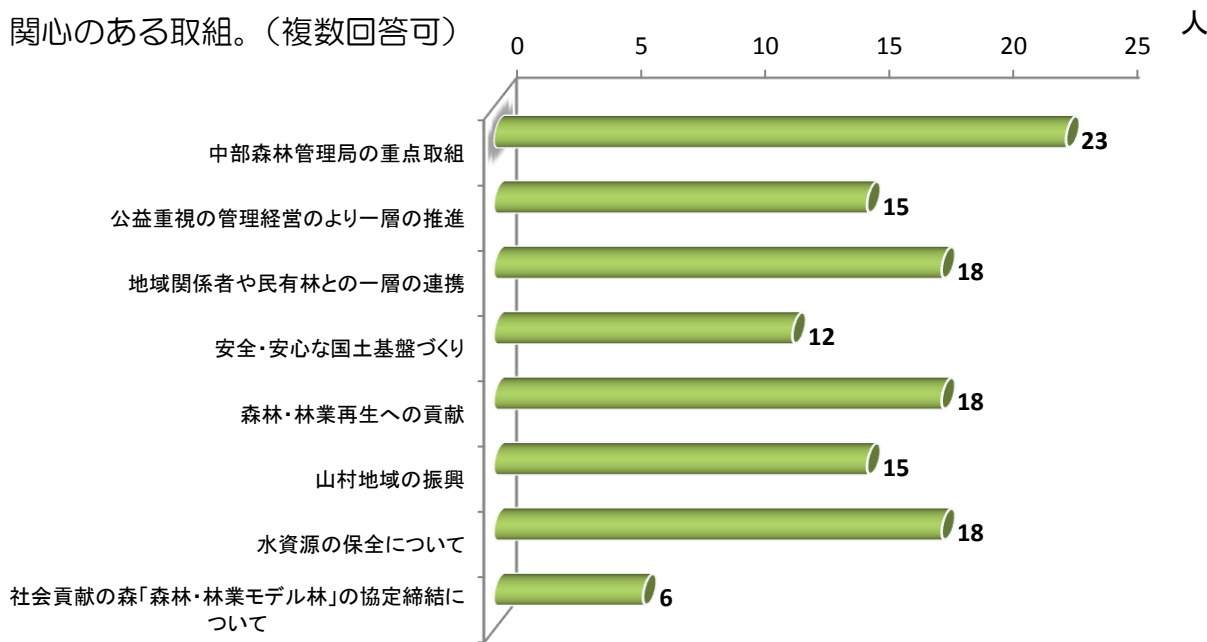


その他(一部抜粋)

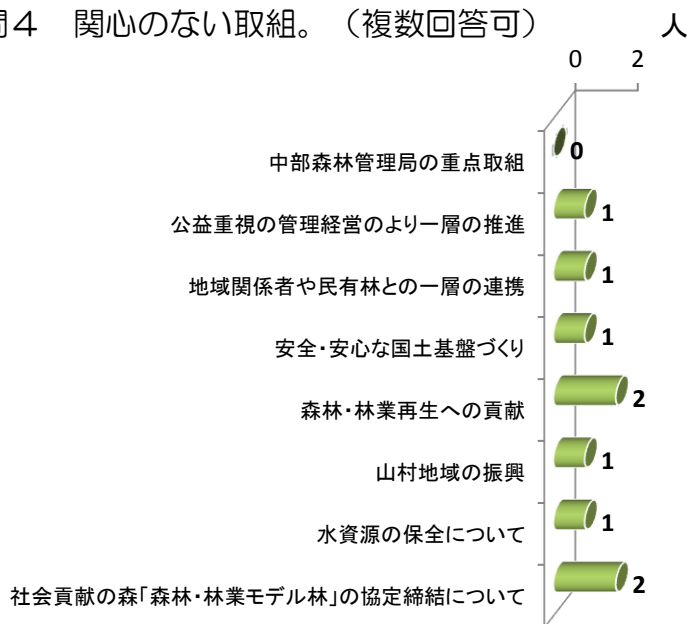
- ・月刊誌(公募ガイド)で知った。
- ・インターネットの検索などで知った。 等

平成 24 年度事業概要への興味について

問3 関心のある取組。(複数回答可)



問4 関心のない取組。(複数回答可)



(昨年度国有林モニターに参加した方のみ)

問5 問3, 4について国有林モニターに参加して変わったこと。(一部抜粋)

- ・ 水資源の保全について、報道等に意識的に接することが多くなった。
- ・ 安心・安全な国土基盤づくりや水資源の保全について関心があったが管理経営や地域関係者等との連携に関心を持つようになった。

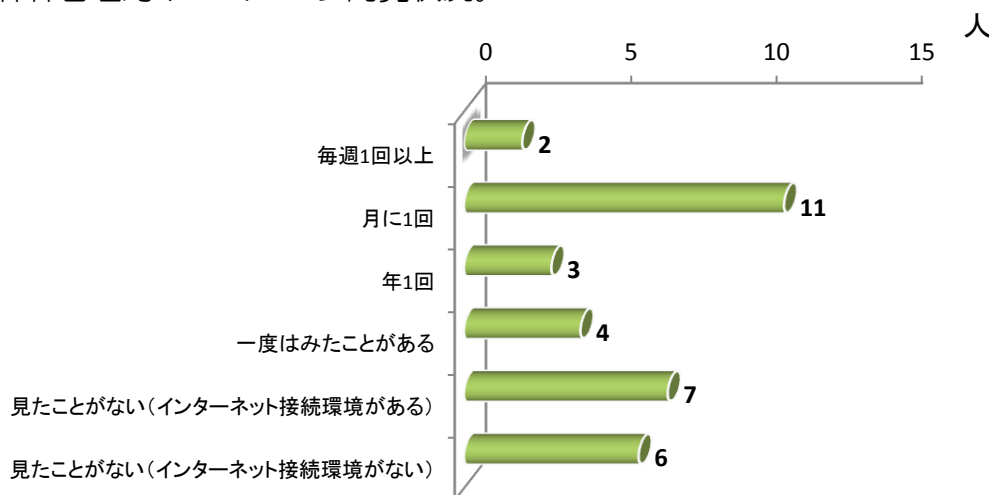
- ・ 森林整備について関心を持っていたが、木材の利用について一層関心が強くなった。

#### 問6 事業概要で改善すべき点、感想。(一部抜粋)

- ・ 衆知・広宣していく発信力を高めることが、事業の推進力になるのではないか。
- ・ 今後の地球環境の変化に備え品種改良等の研究開発に力を注いではどうか。
- ・ 範囲が広いので重点思考でゆかないと中々所期の目標達成は難しく評価もできないのではないか。
- ・ 事業の背景と各事業におけるモニタリング計画・方法を具体的に掲げるとより分かりやすい。
- ・ 重点事項に関して、予算額や予算の用途を、費用対効果の観点からも説明すべき。
- ・ 重点事項について、それぞれ経営の達成度を測るための数値目標があった方がよい。進捗状況或いは月次、半年、年間の達成度をチェックするシステムを作ったら良い。
- ・ 山村留学など、教育面でも自然を体験するプログラムがどんどん増えると良い。
- ・ 自然に慣れ親しんでいない人々にもこの事業活動を知ってもらいたい。
- ・ 面積を千 ha 単位の表示だけでなく、〇〇市面積の〇%等の注釈を記載していただきたい。
- ・ 国有林野事業の一般会計への移行について、もう少し早く移行していれば、大切な関連部門を無くさず、私たち一般人も力強かったと思う。
- ・ 事業概要をみて、とてもわかりやすく書かれている。又、別紙の用語解説がとても参考になった。

#### 中部森林管理局のホームページ等について

#### 問7 中部森林管理局ホームページ閲覧状況。



(昨年度国有林モニターに参加した方のみ)

問8 問7の項目で国有林モニターに参加して変わったこと。

- ・ 昨年は総花的な見方だったが、整備とか管理経営に関心が強まった。

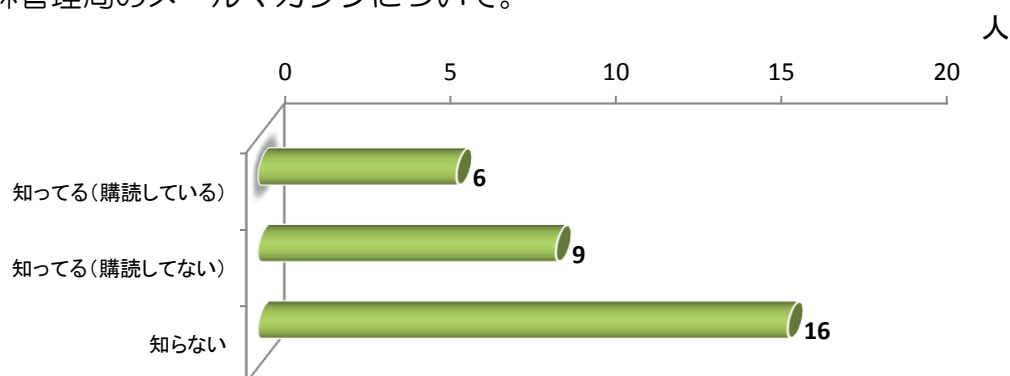
(インターネット回線のある方のみ)

問9 中部森林管理局のホームページについて改善すべき点、感想。

(一部抜粋)

- ・ 「中部の森林」5月号の内容は、「5月号」よりも「6月号」としたほうがいい。
- ・ 森林への招待状「レクリエーションの森」などはレジャーシーズン前までにPRすれば多くの方に興味を持ってもらえると思う。
- ・ 国有林に生えている代表的な樹木の紹介があると良い。
- ・ 新着情報一覧と注目情報が別々で、閲覧に手間がかかる。新着情報と注目情報を一緒にして、時系列に一覧照会できるようにして欲しい。
- ・ 注目情報に発信した年月日を明記して欲しい。
- ・ 掲載写真が鮮やかで素晴らしい。
- ・ レイアウトも色も目に優しいし、アイコンも適度にあるので目的の場所を見つけやすい。文章も分かりやすい。
- ・ 林野庁と中部森林管理局のホームページが区別しにくい。

問10 中部森林管理局のメールマガジンについて。



(昨年度国有林モニターに参加した方のみ)

問 11 問 10 について国有林モニターに参加して変わったこと。

- ・ 毎回メルマガが来るたびに最後まで目を通すようになった。

(インターネット回線のある方のみ)

問 12 中部森林管理局のメールマガジンについて改善すべき点、感想。

(一部抜粋)

- ・ イベント情報、お知らせで直近あるいは今後の動きがわかり参考になる。興味・関心のあるものには参加したい。
- ・ 予定も含めて早めに情報提供あれば尚良い。
- ・ 毎月発行するのは頻度が多いのではないか。
- ・ 広報「中部の森」は社内報的な色合いが強い。中部森林管理局の取り組みを広く告知する機能に特化して貰いたい。
- ・ 絵文字など適度に使われ、他のメルマガと比較しても印象は良い。文章もお偉いさんのものを除いて読みやすい。
- ・ わかり易く、丁寧に説明がしてあり、楽しく読めた。
- ・ レイアウトが雑。視覚的に読みやすくしていただきたい。△□がわずらわしい。

### その他意見・要望

問 13 その他、「国有林」や「国有林野の管理経営」などについての意見

・ 要望。(一部抜粋)

- ・ 森林・林業の整備再生には、合理的かつ効率的な観点・手法等を取り込んで常に改善発展を心掛けてゆかねばならない。
- ・ 将来世代に森林資源を残してゆくには「維持可能な基盤づくり」が第一である。
- ・ 官民一体となって推進してゆく体制を整備構築する必要性がある。
- ・ 日本の森林を守り、利用する為に必要なことは何か、行政は何を指導すべきかを目的にかかげ、ビジョンをたてて計画的に進めるべきではないか。
- ・ 林野庁の役割が国民に見えにくい。国有林をもっと身近な存在にするために、自治体や市役所と連携する等により、今まで以上に PR していかなければいけない。
- ・ 切り捨て間伐後に放置されている木材を搬出できなくても何らかの形で有効利用できないか。
- ・ 国民一人一人が参加しやすい金額で、年に一度位は作業ができる場所と広さに個

- 人の名前を付ける（ネーミングライツ）というのはいかがでしょうか。
- ・ 県下小・中学校などにある緑の少年団の育成や出張して学校林の手入れ方法の指導をしてほしい。
  - ・ シカやイノシシなどに対して、ネットや柵での進入禁止策では限界がある。早く確実に個体数を減少させる方法の実施。
  - ・ 森林を通じた再生可能エネルギーの地産地消を進めるために、木質バイオマスの供給者と利用者のネットワークの構築、集材・運搬のコスト低減や需要先の確保及び、ペレットストーブの普及等に取り組んでいただきたい。
  - ・ 主婦が関心を持ちやすい、子ども達と楽しめるような小さくても親しみやすいイベントなどを多く開催してほしい。
  - ・ 間伐等の作業後に感じる森の変化を多くの方に体験していただき、森林のすばらしさを味わって頂きたい。その為に、森林作業のイベントの回数や人数をもっと増やしたら良いと思う。
  - ・ 国有林を考えることは、歴史や食事、命等、様々な分野のことを考えることにつながっているので、そんな気づき、学びを得られるような活動を期待する。
  - ・ 東日本大震災における復興用資材・応急仮設住宅用杭丸太等の供給確保などの支援は広く知られてはいないが、素晴らしいことである。
  - ・ 保護林、天然生林においても残存木優先保育の為に択伐はすべきと考えるが、それが正解なのか、よく分らない。

#### まとめ

今回のアンケートでは、地球温暖化対策や森林・林業再生に対する関心が高く、国有林の管理経営や林業の再生に向けた取組、PRの方法等幅広いご意見をいただきました。

中部森林管理局では、引き続き中部森林管理局の取組等に理解を深めていただけるよう努めるとともに、今後も皆様からのご意見の把握に努め、皆様の貴重なご意見を参考にしながら、業務の改善を進めて参ります。